

## 日本畜産環境学会第6回大会開催のお知らせ

日本畜産環境学会は、平成13年に日本畜産研究会(平成5年発足)から改組されましたが、その後の大会は第4回大会鳴子温泉以外はすべて東京で開催されてきました。今回は岐阜県畜産研究所にお世話頂き、2回目の地方での大会を計画しました。多数の参加をお待ちしております。

日時:2007年8月2日(木)14:00~18:00、3日(金)9:00~12:00

場所:高山市市民文化会館 講堂(3階) 展示室(2階)

JR高山本線 高山駅下車徒歩14分

〒506-0053 岐阜県高山市昭和町1丁目188番地の1 TEL:0577-33-8333

参加費:学会員2,000円 非学会員5,000円(参加予約不要、当日入会歓迎)

懇親会費:7,000円 懇親会については要予約(7月14日締切)

大会長:岐阜県畜産研究所長 酒井謙司氏

一般口演およびポスター発表に加えて、木村俊範氏と片山新太氏に特別講演をお願いしました。木村俊範氏は、実験室内コンポスト実験装置を用いた基礎研究から、盛岡・紫波地区の生ゴミコンポスト工場の開発まで長年にわたって幅広くコンポスト研究を手がけておられますが、今回は生物系廃棄物のコンポスト化技術とバイオマスプラスチックについて、お話しを頂く予定です。

片山新太(あらた)氏には、牛ふんのコンポスト化反応における微生物群集構造の変化の中で、微生物バイオマスの変化がコンポスト化の反応率(減量化率)と相関関係にあること、原料によって微生物群集構造が異なること、牛ふんコンポストを利用した農耕地における土壌微生物群集の動態、作物生産量の改善と、窒素過多による硝酸溶脱と家畜排泄物に含まれる有害化学物質の問題に関する話題をお話し頂く予定です。

### スケジュール

8月2日(木)

14:00~16:00 特別講演(講堂)

生物系廃棄物のコンポスト化技術とバイオマスプラスチックの動向

北海道大学大学院農学研究院生物資源生産学部門食品加工工学研究室 木村俊範氏

コンポスト化過程の微生物の動態とコンポスト利用における環境影響

名古屋大学エコトピア科学研究所 片山新太氏

16:00~18:00 口頭発表(講堂)およびポスター発表(2階展示室)

18:30~21:00 懇親会

【13:30~13:50 理事会(4階会議室)】

3日(金) 9:00~12:00

9:00~11:30 口頭発表およびポスター発表

11:30~12:00 日本畜産環境学会第4回総会

問い合わせ:〒180-8602 東京都武蔵野市境南町1-7-1 日本獣医生命科学大学獣医学部獣医保健看護学科 浅田忠利 TEL:0422-31-4151 ex320